

議会の動きをみなさまにお伝えします

# 加西市議会だより

NO.166



見通しの良い1年を願って  
大正町恒例のレシヨシ掘り

## 議会 BCP を策定しました (P8~9)

- 11月臨時会 (P2)
- 12月定例会
  - 議案審議 (P3~6)
  - 議決結果 (P7)
  - 一般質問 (P10~15)

2021  
2

## 議案審議

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システムにて御覧いただけます。

11 月臨時会では、条例 1 件、補正予算 1 件について審議を行いました。審議の経過について紹介します。

### 市立加西病院での PCR 検査の開始

議案第 85 号 市立加西病院の使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について

#### ◆議案の内容

症状の有無や濃厚接触者に限らず、職業上の理由で検査が必要な方を対象とする「社会的検査」に対応するため、自費による PCR 検査を実施するもの。

#### ◆質 疑

**問** 社会的検査の内容について。

**答** 県の依頼による行政検査や診療の対象とならない無症状の方についても、PCR 検査を実施します。例としては、企業活動の一環として検査を希望される方や高齢者、基礎疾患のある方に対する検査の実施です。

**問** 検査手数料の設定について。

**答** 1 件当たり 3 万円を予定しています。兵庫県下の民間の診療所等の平均単価 3 万 2,000 円を参考に、民業圧迫や市外からの希望者が殺到しないような単価設定としています。

**問** 検査希望者の受入体制について。

**答** 1 階カウンターで申請をして料金を支払い、2 階検査室で容器を受け取ってトイレで唾液を採取し、窓口へ提出する 10 分程度の工程のため、院内での濃厚接触は防ぐことができます。感染防止対策として正面玄関での検温、容態や来院目的の確認、マスクの着用、アルコールによる手指消毒の依頼を徹底していますので、万が一陽性であっても、一般患者の感染リスクはほぼないと考えており、一般の検査と同じ対応をする予定です。

#### ◆討 論

##### 賛成

・賛成だが、現在の感染状況から対象者は職業上の理由によるものに限定すべきである。また、危機管理の観点から一般来院者と動線を分けるよう、検査場所について考えていただきたい。

#### ◆議決結果

全会一致で原案可決

### 市立加西病院での PCR 検査費用の助成など

議案第 86 号 令和 2 年度加西市一般会計補正予算（第 9 号）について

#### ◆議案の内容

【歳入】・衛生費国庫補助金 400 万円  
疾病予防対策事業費等補助金、地方創生臨時交付金の増  
【歳出】・予防費 575 万円  
PCR 検査委託料の増

#### ◆質 疑

**問** 市立加西病院での PCR 検査委託料について。

**答** 加西市民や市内在勤者等が PCR 検査を受けるに当たり、費用の一部を助成するため加西病院に委託するものです。助成により検査の自己負担は、65 歳以上及び基礎疾患のある市民の方 5,000 円、それ以外の市民の方 1 万 5,000 円、市内事業所等の事業主や従業員は 1 万 5,000 円となります。助成は 1 人 1 回、250 人分を見込んでいます。

**問** 疾病予防対策事業費等補助金、地方創生臨時交付金について。

**答** 今回実施する PCR 検査では、感染による重症化リスクの高い 65 歳以上の高齢者及び基礎疾患のある方は、国の財政措置を受けることが出来、1 万円が疾病予防対策事業費等補助金、さらに 1 万円が地方創生臨時交付金の対象となります。検査数が増えた場合、県内他市町で残額が生じた場合は増額交付が可能と聞いています。

#### ◆討 論

##### 賛成

・行政の責任として、医療従事者等は複数回の助成を可能とするなど、柔軟な対応をお願いしたい。

#### ◆議決結果

全会一致で原案可決

# 第 287 回 令和 2 年 12 月定例会 11 月 30 日～12 月 22 日

## 議案審議

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム（2 月下旬掲載予定）にて御覧いただけます。

12 月定例会では、条例 5 件、規約変更 1 件、市道認定 1 件、契約変更 1 件、補正予算 5 件の計 13 件について審議を行いました。なお、条例 2 件、補正予算 1 件を除く議案を所管の常任委員会に付託し、審議しました。審議の経過について主なものを紹介します。

### 譲渡所得の控除の特例創設

議案第 90 号 加西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

#### ◆議案の内容

地方税法等の一部改正により、個人が低未利用土地等を譲渡した場合の譲渡所得から 100 万円を控除することが出来る特例が創設されたことに伴い、条例を改正するもの。

#### ◆質 疑

**問** 低未利用土地に関する所得控除の適用要件は。

**答** 個人が令和 2 年 7 月 1 日から令和 4 年 12 月 31 日までの間に、都市計画区域内にある所有期間 5 年を超える土地を 500 万円以下で譲渡したものであること。空き地、空き家などの低未利用土地で、買主が親子や夫婦など特別な関係でなく、購入後の土地建物を利用す

る意向があること。さらに、その他租税特別措置法の特例を受けていないことなどが要件です。

**問** 該当する件数及び国民健康保険税への影響は。

**答** 年間 10 件程度該当するものと考えています。また、国民健康保険税の所得割の率は 12.9% ですので、129 万円が国民健康保険税の減収と見込んでいます。

#### ◆討 論

なし

#### ◆議決結果

全会一致で原案可決

### 市道中野 10 号線の新規認定

議案第 92 号 市道路線の認定について

#### ◆議案の内容

中野町内において地区計画の決定により整備、寄附された道路を新たに市道中野 10 号線として認定するもの。

#### ◆質 疑

**問** 中野町における複合商業施設との関連について。

**答** 中野町上山地区では、令和 3 年 3 月末の開業を目指してマックスバリュ、キリン堂の建設工事が進んでいます。隣接する市道中野 10 号線は、協定により民間事業者が整備を進め、用地買収から全て行っています。道路用地は、開発事業者からの寄附の申出によるものです。市道中野 10 号線は国道 372 号線から市道中野家塚線へと結び、近い将来、定住者の増加が見込まれる上山地区における重要な道路となると考えます。

**問** 工事の進捗状況は。

**答** 道路側溝の敷設が完了し、今後、路盤の整備、アスファルト舗装、一部ガードレール及び区画線の

設置を行います。工事完成後、令和 3 年 1 月以降に事業者から道路の引渡しを受ける予定です。

**問** 国道 372 号線及び市道中野家塚線との接続部分の信号機の設置について。

**答** 警察との協議では、信号機の設置は必要ないとのことでした。今後、開発状況等を監視しながら、地元からの要望があった場合は、警察との協議を行っていきたいと考えます。

#### ◆討 論

なし

#### ◆議決結果

全会一致で原案可決



## 新南部学校給食センター工事の契約変更

議案第93号 加西市立南部学校給食センター改築工事請負変更契約の締結について

## ◆議案の内容

令和元年9月26日に請負契約を締結した加西市立南部学校給食センター改築工事について、請負金額を変更するもの。

## 【概要】

- ・請負金額 当初 8億6,900万円  
変更後 8億9,305万5,900円
- ・主な変更内容
  - \*残土処分量の増加
  - \*地盤改良の追加
  - \*セメント系固化材のセメント量増加及び材料変更
  - \*暗渠排水施工等の追加
  - \*給食調理及び施設運営の効率化

## ◆質 疑

**問** 変更内容について。

**答** 電動のシートシャッターに非接触型センサースイッチと交互運転するインターロック機能を追加することで、汚染防止と防虫・防塵の効果が期待されます。ウレタンの床塗装は耐久性に優れ、滑りにくく、調理員の足腰への負担も軽減されます。厨房機器も操作しやすいように取っ手を付け、清掃を容易にするため高さを上げています。



**問** 地盤改良について、六価クロムの溶出試験は建設の一番最初にするものである。もっと早い時期に補正対応が出来たのではないか。

**答** 平成30年10月、11月に、現場でセメント系固化材と土壌との改良試験を行っています。事務処理の効率化の観点から、他の変更がないか精査していたため、契約変更が工期末になったことを理解いただきたい。

**問** 議案上程前に工事が終わっているが。

**答** 国の工事請負契約における設計変更ガイドラインでは、契約変更の手続きは必要が生じたときに遅滞なく行うこととなっていますが、軽微な設計変更による契約変更は、工期末に行うことで足りるものとされています。

**問** 設計をきちんとしていれば、追加もなかったのではないか。設計が不十分ではなかったか。給食関係者との打合せはいつから行っていたか。

**答** 平成29年6月ごろから設計を行い、教育委員会事務局や給食センター所長、栄養教諭、調理員などと打合せをし、詳細を決めています。しかし、設計から工事着手まで3年近く過ぎており、少しでも安全で快適な施設にするため、関係者の声を出来るだけ反映して設計変更となりました。

**問** 契約変更による工事費の増額が2,405万円となっているが、その財源は。

**答** 本来、議会に予算の組替えをお願いすべきですが、議会に諮る時間的な余裕がなかったため、委託料から工事請負費に593万円を流用し、令和2年度の工事請負費1,262万円、令和元年度からの550万円の繰越しで対応しています。

**問** これまでに議会を開く余裕はあったが、なぜ補正予算で対応しなかったのか。

**答** 補正予算で対応するかどうか庁内で議論し、補正予算で組替えをした後、最終的にまた減額補正することはあまり好ましくないと判断しました。

## ◆討 論

## 賛成

・3学期から配食出来るところまでできたことに、執行者や関係者に感謝申し上げたい。関係者からの聞き取りでさらに充実した施設になったことが確認出来たので、賛成する。(建設経済厚生常任委員会)

## 反対

・変更が生じるときは速やかに議会に説明があり、直後の議会できちんと議案を出すべきだった。結局、事後承認になっていることは良くない。(建設経済厚生常任委員会)

## ◆議決結果

賛成多数で原案可決



## 新型コロナ対策地域活性化キャッシュレス事業、公共施設のトイレの洋式化など

議案第94号 令和2年度加西市一般会計補正予算（第10号）について

### ◆質疑

#### ふるさと納税

**問** ふるさと納税特産品費6億8,000万円の増額補正の根拠と返礼品について。

**答** 令和2年11月末現在で、ふるさと納税受入額が22億7,000万円となり、令和元年1年間の寄附額を超えています。増加の要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により自宅で使う製品の需要が高まったことや、ふるさと納税サイトのトップページをリニューアルしたこと、また、イオンでのPRブース設置など市独自の取組、さらに受入額の増加に向けて事業者と連携して取り組んだことなどが考えられます。返礼品の内訳は、家電など工業製品が全体の約9割を占めている状況です。

#### 公共施設のトイレの洋式化

**問** 財産管理費の工事請負費4,000万円の内容は。

**答** 平成30年度から公共施設のトイレ整備を進めています。市役所本庁を含め26施設のうち、残り15施設の洋式化を予定しています。

**問** バリアフリー化やオストメイトなど多目的のトイレの必要性はどうか。

**答** スペースの問題はあるものの、出来る限りの対応をしていきたいと考えます。



#### 介護施設のコロナ対策

**問** 介護施設への備品購入841万円について。

**答** 介護保険施設における新型コロナウイルス感染症拡大のリスクを低減するために、簡易陰圧装置を設置するための補助金です。居室の気圧を室外よりも低く保つことにより、ウイルスが室外に拡散することを防ぐと共に、空気を循環させてウイルスによる感染を抑えます。要望のあった2法人5施設に交付します。



#### 地域活性化キャッシュレス事業

**問** 地域活性化キャッシュレス事業について、8月、10月と周知が進み、対象となる店舗、事業所、あるいはPayPay利用者が増えていると思うが、状況について。

**答** 登録店舗数は、8月の250店舗から10月は約300店舗と伸びています。今後は店舗数はあまり伸びないと見込んでいますが、期待感が大きいことから、10月以上のポイント付与額になると見込んでいます。また大型商品への流れを避け、飲食や小売など少額決済が見込まれる店舗への消費誘導など、裾野を広く利用してもらえるように、1回当たりの還元額を上限2万円から5,000円の付与に変更します。



#### 小規模事業経営持続支援金

**問** コロナの影響がまだしばらく続く中で、小規模事業経営持続支援金の今後の考え方について。

**答** 中小企業の事業再構築補助金や、業態転換を行う中小企業への支援、デジタル化など国の方針が出てきており、今後、市でも、新たなチャレンジをする事業所を積極的に支援するメニューを検討したいと考えます。



#### 泉こども園の跡地利用

**問** 泉こども園跡地の調査測量後の予定はどのようなになっているのか。

**答** 公募による用地売却を予定しており、登記上の問題がクリア出来れば売却手続を進めていく予定です。公募については、十分協議して準備を進めたいと考えています。



### ◆討論

なし

### ◆議決結果

全会一致で原案可決

## 新型コロナウイルス感染症による収益の減など

議案第97号 令和2年度加西市病院事業会計補正予算（第2号）について

## ◆議案の内容

【収入】・入院収益 △7,744万1,000円  
 ・外来収益 △1億6,048万2,000円  
 ・その他医業収益 △3,305万4,000円  
 人間ドック収益等の減

【支出】・経費 △2,800万円  
 一部業務を外部委託から直営にしたこと  
 による委託料の減

## ◆質 疑

**問** 新型コロナウイルス感染者が増えている状況での加西病院の対応は。

**答** 感染症病床は6床で運営していましたが、兵庫県の要請により、休床していた病棟を活用して8床を追加し、合計14床で運営しています。

**問** 新型コロナウイルス感染者の受入れに対するスタッフの配置は。

**答** 感染症対応に充てた8床のスタッフも、現在勤務している職員で対応しています。呼吸器内科の医師は配置されていませんが、入院患者は中等症以下で、専門医以外の内科医等で十分対応が出来る患者を受け入れています。

**問** 新型コロナウイルス感染者の受入れに対する収入補償は。

**答** 入院の場合、一般の入院より高い単価が適用されます。また、感染症病床の確保対策として、ベッドが空いている場合も県からの補助金があります。

**問** 新型コロナウイルスにより医業収益は減っているが、令和元年度より収支改善している要因は。

**答** 病床数の減により、1人当たりの入院単価は平均3,000円、外来単価は平均1,000円上がっています。また、退職不補充による人員減や診療材料の単価見直しによる費用の削減、加えて、保守契約の見直しや一部業務を直営にしたことによる委託料の減などが要因であると考えます。

## ◆討 論

## 賛成

・コロナ禍での病院経営が大変厳しいことは承知しているが、経営改善のために、やるべきことはきちんとやる姿勢は貫いてほしい。一時借入れが膨れ上がっており、長期借入れのほうが適正であると思うので、結論を出してもらいたい。(建設経済厚生常任委員会)

## ◆議決結果

全会一致で原案可決

## ひとり親世帯への国からの臨時特別給付金の支給

議案第99号 令和2年度加西市一般会計補正予算（第11号）について

## ◆議案の内容

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、年末年始を迎えるに当たり、ひとり親世帯へのさらなる支援が必要であることから、国からの臨時特別給付金を令和2年中に追加で支給するもの。

【概要】・給付金額：5万円/世帯（対象児童が2名以上の場合、2人目から3万円/人）  
 ・支給日：令和2年12月24日

## ◆質 疑

**問** 支給対象者について。

**答** 令和2年8月の支給では203世帯が申請されています。今回も同じ条件での支給となるため、ほぼ同数の対象者となると見込んでいます。

**問** 8月の支給時に手続しているが、再度申請手続は必要か。

**答** 8月に支給された方は再度の申請は必要ありません。ただし、支給を辞退されるかどうかの確認を行います。

**問** 市内のひとり親世帯の現状について。

**答** 児童扶養手当の現況調査において、203世帯のうち102世帯で収入が減少したと聞いており、約半数が新型コロナにより収入への影響があったものと認識しています。失業等についての相談はなく、雇用への影響は少なかったものと考えています。

## ◆討 論

なし

## ◆議決結果

全会一致で原案可決

## 意見書案 1 件を採択しました

12 月定例会では意見書案 2 件が提出され、審議の結果、1 件を採択しました。

### 意見書案第 3 号 激甚化する自然災害及び新型コロナウイルスへの対応と地域の安全・安心を確保するための社会資本整備の更なる推進を求める意見書

#### 要旨

令和 2 年 7 月豪雨では、九州地方など広範囲で災害が発生し、数多くの人命、財産が失われた。また、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動の停滞により、民間需要が大幅に落ち込むなど、地域経済に大きな影響を与えている。

市民が安全な環境で暮らし、経済活動を維持継続していくために、社会資本の整備、さらには激甚化する自然災害に対応した防災・減災対策とインフラの老朽化対策に集中的に取り組むことが必要であり、加えてコロナ禍で落ち込む地域経済を回復させるうえで、民間投資を促し生産性向上に寄与する社会資本の整備は一層必要なものとなっている。

このようなことから、国においては地方の現状を十分に踏まえ、次の事項について特段の措置を講じていただきたい。

- 1 「防災・減災、国土強靱化のための 3 力年緊急対策」に続き、長期に及ぶ大規模で抜本的な対策を行う事業など対象事業の拡大も含めた 5 力年計画を策定すると共に、必要な予算を安定的に別枠で確保すること。
- 2 避難に必要な道路橋梁等、社会基盤施設の機能を災害時にも確実に発揮させるためには、継続的な施設の修繕・更新が不可欠であり、老朽化対策に必要な予算を安定的に別枠で確保すること。
- 3 安全・安心な生活の確保と定住人口の増加、地域活力の向上のための社会資本整備に必要な予算を十分に確保するとともに、社会資本整備総合交付金等について、地域の実態に鑑み、予算を重点配分すること。
- 4 新型コロナウイルス感染症の流行で、大幅に停滞する地方の経済・雇用を下支えする公共事業を含めた追加的な補正予算を措置すること。

## 第 287 回 令和 2 年 12 月定例会 議決結果一覧 令和 2 年 11 月 30 日～12 月 22 日

### ■賛否の分かれた議案（採決順に掲載）

○…賛成 ×…反対

議案	北川克則	高見博道	下江一将	佐伯欣子	深田照明	原田久夫	井上芳弘	中右憲利	黒田秀一	丸岡弘満	深田真史	森元清蔵	衣笠利則	森田博美	土本昌幸	議決結果
議案第 93 号 加西市立南部学校給食センター改築 工事請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	議長	原案可決 (賛 11、反 3)
意見書案第 4 号 糎屋タム付近の国有地の取り扱いに 慎重な対応を求める意見書	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	議長	原案否決 (賛 5、反 9)

### ■全会一致で可決、認定した議案

- 議案第 87 号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について  
 議案第 88 号 特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
 議案第 89 号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
 議案第 90 号 加西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について  
 議案第 91 号 兵庫県市町村職員退職手当組合理約の一部変更について  
 議案第 92 号 市道路線の認定について  
 議案第 94 号 令和 2 年度加西市一般会計補正予算（第 10 号）について  
 議案第 95 号 令和 2 年度加西市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について  
 議案第 96 号 令和 2 年度加西市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）について  
 議案第 97 号 令和 2 年度加西市病院事業会計補正予算（第 2 号）について  
 委員会提出議案第 2 号 加西市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について  
 議案第 98 号 加西市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例の制定について  
 意見書案第 3 号 激甚化する自然災害及び新型コロナウイルスへの対応と地域の安全・安心を確保するための社会資本整備の更なる推進を求める意見書  
 議案第 99 号 令和 2 年度加西市一般会計補正予算（第 11 号）について

# 『加西市議会業務継続計画（議会 BCP）』を策定

## 1 BCP（業務継続計画）とは

大規模災害などの不測の事態を想定して、業務を適切に進めるために具体的な取組などについて定めた計画のことです。

2011年3月の東日本大震災の後、議会における災害時の在り方が注目されるようになりました。

**BCP**：Business Continuity Plan（業務継続計画）



## 2 加西市議会 BCP 策定の経過

令和元年度、総務常任委員会において議会の災害対応や BCP 策定の先進自治体を視察し、加西市議会における BCP 策定の必要性を議員共通の認識としました。その後、令和2年1月より議会運営委員会協議会を5回開催し、協議を重ねてきました。

そして、12月定例会において、災害時の議会対応についての条文を追加する、議会基本条例の改正案を全会一致で可決し、議会 BCP の策定に至りました。

## 3 加西市議会 BCP の目的は

議会は二元代表制の趣旨にのっとり、議事・議決機関、住民代表機関として、大規模災害などの非常事態においても、その基本的機能を維持し、迅速な意思決定と多様な市民ニーズの反映に資するという議会の機能維持を図る必要があります。

加西市には山崎断層帯のほか、ため池や土砂災害警戒区域が多くあり、大規模自然災害が常に身近に起こり得るものとして認識しなければなりません。また、新型コロナウイルス感染症は大規模災害に匹敵する脅威をもたらしています。

このことから、自然災害や感染症等の発生時においても継続して議会の機能を担うために、必要な組織体制や議会、議員等の役割を定めるものです。

### 議会 BCP の対象とする災害

災害種別	災害内容
地震	震度5弱以上の地震が発生したとき
風水害	台風、暴風、豪雨、洪水、土砂災害などで局地的または広範囲な災害が発生した場合、またはそのおそれがあるとき
感染症	感染症法に基づく指定感染症、新感染症、新型インフルエンザ等感染症が国内で発生したとき
その他	大規模火災などの事故、原子力災害、大規模なテロなどで大きな被害が発生した場合、またはそのおそれがあるとき



## 4 災害時の議会、議員の行動

### 【議会の役割】

議会は、議事・議決機関として予算や条例、重要な契約などについて、団体意思を決定すると共に、執行機関の事務執行をチェックし、また、市の重要な政策形成において地域特性や多様な市民ニーズを反映するなど、極めて重要な役割を担っています。

大規模な災害等が発生した非常事態においても、議会の機能を停止することなく、適正かつ公正な運営により、議会機能を維持する必要があります。そのために、様々な災害の時期や程度を想定し、それに対応する体制を整えておかなければなりません。加えて、災害の復旧・復興にあっては、住民の代表機関として大きな責務と役割を担います。

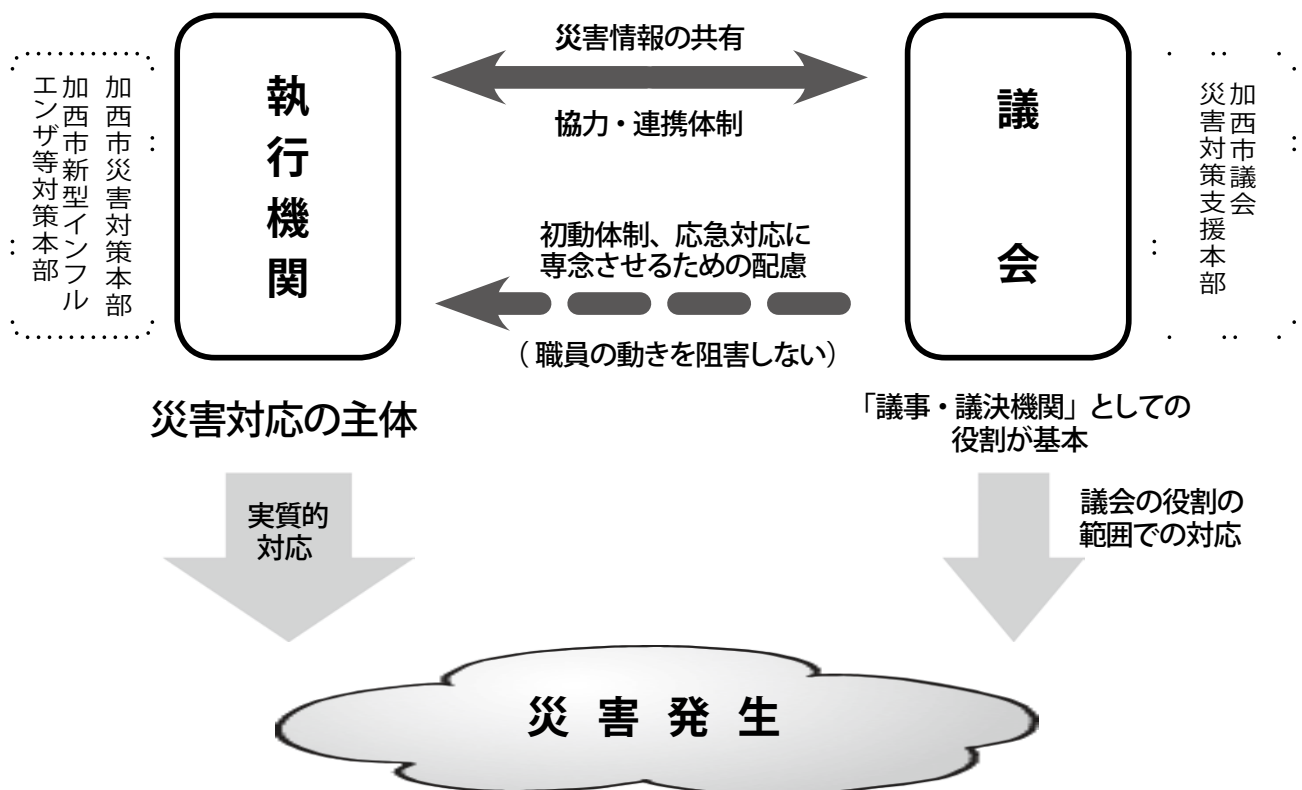
### 【議員の役割】

議員は、議会が議決機関としての機能を維持するために、その構成員としての役割を担うことが基本となります。

一方で、議会機能を維持するという根幹的な役割を十分に認識しながら、自然災害発生時における救援や復旧活動など、地域の一員としての活動を果たす役割を求められることがあります。

また、感染症の発生時には、自身の感染予防を図りつつ、感染拡大による市民生活への影響等の情報収集に努めるなど、議会の構成員としての役割を担います。

## 5 災害時の執行機関と議会の関係



※ 詳細は加西市議会ホームページでも御覧いただけます。

# 第 287 回 令和 2 年 12 月定例会

## 一般質問

12月8日、9日の本会議では、11名の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり活発な議論が展開されました。主なものを紹介します。(発言順に掲載)

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム(2月下旬掲載予定)にて御覧いただけます。



### 加西病院の今後の方向性について



中右 憲利 議員  
(令和新風加西)

**問** 2025年に新病院が開院予定とのことだが、その概要は。

**答** 計画案では西館は残し、新館を今の駐車場に建設します。新館建設中も診療は続け、新館での診療開始後に中央館等古い建物を解体撤去する計画です。当初の病床数は、新館136床と西館21床の157床でスタートし、その後は状況を見て病床数の適正化を図ることになると考えます。

**問** 診療科について。

**答** 基本計画の答申では、内科、外科、整形外科、麻酔科、救急科、精神科については維持、それ以外の診療科は近隣病院等との連携を検討するとしており、今後神戸大学医局の動向なども勘案しながら対応する予定です。

**問** 産婦人科について。

**答** 当院は産婦人科医師が1名のため、希望があれば妊娠初期初期の診療等を受け持ち、以降は分娩が可能な病院を紹介する機能をワンストップで提供することになると考えています。

**問** 産前産後ケア事業について。

**答** 新病院では、産前産後ケア事業の専用病室を用意することは難しいと考えます。一般の病室の個室を使い入院していただき、その際にお子様を一時的に預

かる場所など、産前産後ケア事業を円滑に運営していく準備等については、多くの方の意見を聞きながら計画を進めたいと考えます。

**問** 新病院建設基本計画策定委員会が指摘した、収益性、効率性の改善について。

**答** 収益性については、医療費請求上で、DPC症例ごとに費用過多となっていないかを、院長が各診療科の医師、看護部等との面談によって指摘し、改善の検討を進めているところです。効率性については、収入に見合った職員数の適正化を図るため、要員計画に基づき退職不補充の方針で人員の適正化を進めています。医療消耗品も値下げ交渉を実施し、年間約2,000万円の効果を上げています。加えて委託業務の見直し等経費の削減を図っているところです。

## 加西病院の感染症対策と運営について



**深田 照明 議員**  
(21政会・加西ともに育つ会)

**問** 発熱外来受診者数と PCR 検査の状況は。

**答** 発熱外来受診者は令和 2 年 9 月が 16 件、10 月は 29 件、11 月は 46 件と増加しています。PCR 検査は加東健康福祉事務所からの行政検査、病院の発熱外来受診者を合わせて令和 2 年 10 月は 187 件、抗原検査は 186 件の計 373 件です。11 月に入り PCR の自費検査が始まりましたが、市内、市外を含めて自費件数は 88 件となっています。それを除く PCR 検

査は 317 件、抗原検査は 260 件の計 577 件となっています。

**問** 新型コロナ感染症陽性者が増加しているこの時期に、市民のため診療業務に日夜頑張っている病院職員の給与削減を提案された理由は。また、医療者のモチベーションが低下し、退職者が増加して補充が困るなど計画より人員削減が進んで業務が回らなくなり、結果、病院を受診される方が減少し、給与削減による効果額より医業収益がより低下する悪循環になるという想定はされていないのか。

**答** 新型コロナ感染症流行前より将来構想、新病院建設基本計画策定などの検討を進めており、経営安定化が新病院建設の前提で喫緊の課題です。市に頼るばかりではなく、病院職員一丸と

なって新病院建設に向けて固定経費削減と建設への強い決意を表明するための提案です。病院職員のモチベーションアップのための最大の目標は病院建て替えをスムーズに迎えることであり、一丸となって対応する必要があると考えます。ご指摘のような懸念を全くしていないのではなく、そういった状況に陥らないよう留意していきたいと考えます。医師については院長より医局会での説明、各科部長との個別面談を行い、十分な合意を得ているというのが現状で、職員にも給与カットについて丁寧に回数を重ねて説明し、協議しているところです。

### ■その他の質問項目

- ・ 保育待機児童の状況について
- ・ 学童保育での感染防止対策について

## 小野加東加西環境施設事務組合の状況について



**衣笠 利則 議員**  
(21政会・加西ともに育つ会)

**問** 小野クリーンセンターの状況について、全議員で認識を一つにし、今後の施設更新の議論に臨みたいとの思いで質問するが、まず、施設の設置期限や施設の耐用年数は。

**答** 平成元年に稼働し、設置期限は所在地の地元町との確約により 50 年、令和 21 年とされています。焼却炉等の施設は性能低下や摩耗の進行が早く、一般的には 20 年程度と言われており、小野クリーンセンターの焼却設備は約 10 年後には基幹的設備の更

新が必要とされています。

**問** 事務組合加入によるメリットとデメリットは。

**答** 加西市の加入により焼却炉稼働率が上がり、効率的な運転と炉の延命化が図られ、経費削減にもつながっていると考えます。一方、加西市からの搬出が遠距離になり、収集業務委託料が増加しています。

**問** 平成 26 年に加西市が加入した際の、廃炉時の撤去費用に関する 3 市の合意内容は。

**答** 小野クリーンセンターの廃炉費用は小野市と加東市が負担し、加西市には負担を求めない。ただし、加西市クリーンセンターの廃炉費用は加西市で負担することで合意しています。

**問** 小野市、加東市における廃炉に関する動きについて。

**答** 廃炉費用負担について、小野市では令和 2 年 10 月に議員協議会が開催され、加東市では令和 2 年 11 月に所管の委員会で説明があり、意見聴取されています。一部事務組合は複数の団体で構成され、運営の特殊性や構成市の考え方があり、それぞれの議会対応をされたと考えます。

**問** 小野クリーンセンターの今後に関する市長の考えは。

**答** (市長) 周辺整備も含め新しい施設をどのように造るのか、そして撤去の問題等を一体的に検討して方向性を出すことについて、管理者間では議論の緒についていたところと感じています。今後の社会のあり方、人口減少や環境問題等大きな視点での検討が大変重要で、管理者間でしっかり意見をまとめて議会に提案し、協議をしていただきたいと思います。

## 市役所業務について



黒田 秀一 議員  
(自由民主党・無所属の会)

**問** 戸籍処理における職員の事務的ミスが起きた原因は。

**答** 日常業務における慣れや慢性等により注意力が低下し、十分な確認を行っていなかったことが考えられます。

**問** ミスの発覚後 20 日以上経過して新聞報道があったが、なぜ公表しなかったのか。

**答** ミスが判明した 11 月 6 日以降、まずは被害者の方への報告と謝罪、法務局への相談と戸籍の修正手続等を行い、11 日には戸籍の修正が完了し、その後ミ

ス再発防止策を検討しました。11 月 30 日の職員分限懲戒審査委員会での処分を待って議会へ報告する予定でしたが、それより早い 28 日に新聞報道がありました。

**問** マスコミ出身の副市長として、公表に対する考えは。

**答** 当事者や家族の考えに寄り添って対応することが何より大事であると考え、当事者の方の希望により、戸籍の再生手続を最優先で当たり、その後は再発防止策、処分についてしっかり対応することを優先しました。ただ、議会に対しては事前に一定のところで説明しておく必要があったと反省し、今後はしっかり説明したいと考えます。

**問** 市民課管理職 2 人の仕事と秘密保持についての考えは。

**答** 市民課長は課の総括業務、健康福祉部課長（戸籍担当）は主に戸籍に関する業務を行って

います。戸籍業務は専門性と個別性が非常に高く、多くの経験が必要とされ、また正確性が重視されます。経験年数の長い職員の異動に伴い、後継者育成の観点等から戸籍担当課長が配置されています。また、市民課は大切な個人情報も多く管理しているため、慎重かつ厳重に取り扱っています。

**問** ミス根絶に向けた対応は。

**答** 行政の社会的な影響や役割の大きさについて、再度全職員がしっかり認識するよう努めます。また、ヒューマンエラーとして個人に対策を求めるのではなく、組織マネジメントして仕組みの改善を図ります。

**問** 今回のミスについて、市長はどのように考えているか。

**答** (市長) 処分は議会で決めていただき、それを受けてしっかり職務に当たっていきます。

## 学校の再編・統廃合、ごみ焼却施設について



深田 真史 議員  
(自由民主党・無所属の会)

**問** 学校再編・統廃合の議論はもう先送り出来ない。ある意味、政治判断だ。毎月でも、毎週でも総合教育会議を開いて、もっと深い議論が必要ではないか。令和元年 12 月議会での市長自らの発言から具体的にどのように進めようとしているのか。

**答** (市長) 総合教育会議でもっと議論を重ねましょうと発言しました。ただ、教育委員からは一度腰を据えて全国の事例を見たいとのことであり、それを踏ま

えて次の会議を召集したいと思います。

**問** 早期に工程表を示してもらいたい。

**答** (市長) スケジュールは既に持っています。小・中学校をどうするか決めた上で、教職員・保護者・地域住民の合意を得ながら、最終的に議会承認に進むリミットが私の現在の任期中との思いです。ただし、様々な案が飛び交って、議論を阻害することもあるので、「これで了承を」というところまで内部で詰めてからお示ししたいと思います。

**問** 加西クリーンセンターの解体コストは。

**答** 平成 26 年の試算では 3 億 9,000 万円です。

**問** いつ解体するつもりなのか。財源的な余裕があるときに解体しなければならないのではないのか。

**答** (市長) 早期に着手すべき課題だと思っています。有利な補助がなく、今、4 億円を一般財源から出せる状況にはありません。小野クリーンセンターの廃炉と次の施設を含めて総合的に検討します。



### ■その他の質問項目

- ・ 新型コロナの影響について
- ・ 危機管理について

## 障がい福祉・地域福祉の充実について



**丸岡 弘満 議員**  
(自由民主党・無所属の会)

**問** これまでも質問してきた地域生活支援拠点の整備について、令和2年度までに1カ所整備するという第5期障害福祉計画の目標は達成出来るのか。

**答** 障がい者の介護者が入院や急な用務で一時的に介護が出来ない場合や、親亡き後の一時的な受入れ等を実施するための地域生活支援拠点の整備は、現在のところ難しい状況です。

**問** 4期、5期計画で整備出来なかった。6期計画でも1

カ所整備を目指すと言ったが、整備を待ち望んでいる方々がいる。なぜ整備が進まないのか。

**答** 障害者自立支援協議会の関係者も整備を強く願っており、24時間受け付けの連絡体制や対象者の選定、短期入所受入れの場合の空床確保の補填など経済的な負担の問題をどのようにクリアするのかなど、検討しています。利用の際の負担があり、整備したが利用が難しいとならないよう、理解を得ながら進めています。

**問** 令和3年の小学校進学予定者のうち、障害児タイムケア事業の利用希望者を把握しているのか。また、6月議会では現状の確認と今後を考えた提案をしたが、結果はどうなっているか。

**答** 特別支援学校と特別支援学級の進学予定数は把握しています。生徒数が少し増えるため、

タイムケア利用者も増える可能性があります。利用希望は把握していません。定員は若干余裕があるため、放課後等デイサービスなどの協力も兼ね合わせ、どうするか検討したいと考えます。

**意見** 対応が遅い。放課後等デイサービス1カ所廃止後も、法人がなんとかうまく引継ぎされたから良かったが、タイムケアも前回回答弁では定員に対して余裕はあるが現状の人数が限界ではないかと答えており、今も対応が出来ていない。予想される中において先手先手で考えなければいけない。

### ■その他の質問項目

- ・農業の再生と活性化について
- ・コロナ禍における新しい学校教育について
- ・行政手続きのオンライン化について
- ・市内各地の忠魂碑について

## 新型コロナウイルス感染症対策の商工振興事業について



**北川 克則 議員**  
(令和新風加西)

**問** 加西市小規模事業者経営持続支援金の状況について。

**答** 令和2年11月末現在の交付対象は、第1回目の4月、5月が418件、第2回目の6月、7月が568件、第3回目の8月、9月が361件の合計1,347件です。第1回から第3回まで継続して交付対象となっている事業所は152件です。業種別では申請の多い順に、製造業128件、建設業61件、小売業とサービス業が同数の53件、飲食業31件となっています。

8月、9月の申請者では、前年同月比の売上げが50%以上減少している事業所が40%を占めており、継続的な支援が今後も必要であると判断しています。

**問** PayPay20%還元の地域活性化キャッシュレス事業について。

**答** 20%還元のポイント付与額は、8月は3,800万円、10月は6,600万円、8月の1.7倍となり、合わせると3億6,000万円以上が市内で消費されたこととなります。決済金額が多い業種は、自動車整備、家電家具寝具、飲食店、喫茶店、酒類、衣類、食品、理美容となっていますが、その他幅広い業種で利用が進み、効果があったと分析しています。事業所アンケートの結果では、売上げ増66%、客数増56%、キャッシュ

レス決済の増74%、新規顧客の増25%、客単価のアップ19%、市外からの客の増が13%となっており、地域店舗への消費誘導が図られたと考えています。次回の実施では、1回当たりのポイント付与を上限2万円から5,000円にし、ただし1カ月の上限は2万円に据え置いて、少額な決済を数多く幅広く使っていただく方法を検討しています。

**要望** 新型コロナの影響は長引くと予想されるので、雇用対策や法人税減税などの検討もお願いしたい。

### ■その他の質問項目

- ・加西病院の経営について
- ・泉よつばこども園設置に伴う空き施設の活用について
- ・県道下滝野市川線の整備について

## 加西インター産業団地について



高見 博道 議員  
(令和新風加西)

**問** 1-2 工区は、3 月の工事完了、リスパックへの引渡しが見えてきたが、市長としてここにかける思いをお聞かせ願いたい。

**答** (市長) 加西インターチェンジが後付けでも完成したこと、そして圃場整備が出来ていない田が 150 ヘクタールもまとまって残っていたこと、この 2 つは奇跡的なことで、その奇跡をチャンスに出来たと感慨深く思っています。

1-2 工区に大きな企業が進出決

定し、3 月には引渡しが出来た状況になってきましたが、インター周辺地域は広く、次に 1-1 工区、2 工区、4 工区のめどをどうつけていくのかが大きな課題でした。しかし、リスパックの進出や内陸部の交通の要所に企業を移転したいという産業界の大きな力も働いている状況の中、開発事業者、進出予定企業とも多数応募があります。1-1 工区、2 工区、4 工区への企業進出がおおむね決まってくる状況を早く作り、次にインターのすぐ足元である 3 工区、また 5 工区も法手続を開始しなければなりません。県の許可を得るには企業が進出する実現可能性が必要で、やはり 1-2 工区が完成して、1-1、2、4 工区もある程度出来てきたという状況を作らなければ、次に進めません。この任期のうちに 3、5 工区の手続を進めることが出来るよう、1-1、2、4 工区の整備を頑張っ

ていきたいと思っています。

官民連携事業として開発事業者の力も借りながら、進出企業がおおむね決まるという状況を早く作りたいと思っています。地元の方にはご協力をいただくことがたくさんあると思いますが、引き続きご協力をよろしく願います。

**要望** ぜひ早く順次進めていただきたい。操業による税収増、雇用による人口増とも加西市の活性化につながるので、頑張ってください。

### ■その他の質問項目

- ・ 加西市役所窓口業務について
- ・ 加西市内企業の状況について
- ・ 加西市の市税の徴収状況について
- ・ 令和 2 年度高校入試等進路状況について

## 屋内型遊戯施設とテレワークセンターについて



佐伯 欣子 議員  
(21 政会・加西とも子育て会)

**問** 現在の設計状況と施設の全体のビジョンについて。

**答** 令和 2 年 12 月中に予定している設計案では、ワークショップ等での子育て世代や女性の声を反映するよう依頼し、令和 2 年度中の設計業務完了、令和 3 年度の工事発注、年内完成、年度内オープンを目指しています。アステシアかさいに整備することにより、子育て支援と合わせて駅前のにぎわい創出、移住への動機付け、新しい働き方の推進につなげること等を目的としています。

**問** 施設の運営について。

**答** 民間のノウハウを生かすため、指定管理等、より良い運営形態を見定めたいと考えます。プレイヤーの育成や配置、子供の一時預りのための保育士配置の検討など、様々な利用者ニーズに対応したいと考えます。

**問** 利用料金について。

**答** 無料ではなく、適切な金額設定を検討しています。カフェとのセット料金など、利用形態を含めて料金体系を組み立てていくべきと考えます。

**問** 子育てキッズや図書館との連携について。

**答** アステシアかさいには図書館や地域交流センター、ふるさとハローワークや国際交流協

会等が入居し、これらと連携した読み聞かせや英語との触れ合い、起業セミナーの場の提供なども考えられます。地域の子育て広場との連携は、今後担当部署と検討していきます。

**問** 未来型児童館との差別化について。

**答** 児童館は健全な遊び場として健康と情操を高める施設です。未来型児童館は、教育委員会を中心に来年度の基本計画策定を予定しています。それぞれの施設の役割を発揮し、子育てしやすいまちとして市の魅力アップにつながるよう努めていきたいと考えます。

**要望** 市内全体で、子育て世帯への支援や子育てしやすい仕組みを共有できるよう、横の連携を図っていただきたい。

## 市立加西病院について



井上 芳弘 議員  
(日本共産党)

の状況が続いていると考えています。

**問** そのように対応されているとしても、感染があっても不思議ではなく、最初の感染からの広がりを防止する訓練や、スタッフ内での意識の共有は当然では。

**答** 感染症病床は現在 14 床運営していますが、6 床は別棟、8 床は閉鎖した病床を使用しています。感染についてしっかりと教育を受けた者が限定的に対応していますので、いたずらに恐れていないというのが病院の考え方です。

**問** 多くの病院でスタッフ不足の事例も報告されています。北播地域を一手に引き受けている現状だと思いますが、医療従事者の体制は十分でしょうか。

**答** 感染症病床が 6 床までの段階は、軽症の方、無症状か微熱程度の方を受け入れてきました。症状が悪化する予兆を見出したら、すぐに県立加古川医療センターに送る体制を執ってきました。追加の 8 床については、兵庫県要請により、中等症の 1 という酸素の吸入をしなければならぬ方も可能な限り対応していますが、ICU や多くの看護師を必要とする重症の方はなく、いたずらに心配することはありません。

### ■その他の質問項目

- ・子育て・暮らし、中小業者支援について
- ・就農支援について
- ・市道の整備、安全対策について
- ・コロナ感染症の拡大と対策について

**問** 新型コロナウイルスのクラスターが全国で最も発生しているのは病院です。令和 2 年の春以降長期にわたって新型コロナウイルスへの対応をされています。感染防止に相当努力されてきたと思いますが、現状について。

**答** 令和 2 年 4 月以降、医療従事者への感染はありません。スタンダードプレコーションといいますが、感染予防と考えられることを愚直に実践することを病院の中でやっており、結果として今

## ICT を活用したまちづくりについて



下江 一将 議員  
(21 政会・加西ともに育つ会)

期間で捕獲することが可能です。

**問** 今後、導入の対象となる地域と取組の方向性は。

**答** 獣害被害に強い集落モデル作りを推進するため、住民主体の獣害被害対策モデル地区の設置を検討しています。モデル地区候補として取り組んでいる集落では、兵庫県森林動物センターや兵庫県立大学の獣害対策チームの支援を受け、研修会の開催や集落内被害アンケートの実施、現地研修会による個別の被害発生の確認、金網柵の点検、有害鳥獣の発生、生息状況のセンサーカメラ設置による把握、ワークショップ等を通じた問題点の可視化等を進めています。今後はモデル地区の拡大も目指しています。

**問** 加西市の業務におけるペーパーレス化について。

**答** 従前より環境負荷の軽減や行財政改革の一環として、紙省力化に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症への対応が求められる中、感染症対策や働き方改革の観点からも、ICT 技術を活用した行政手続の見直しにより一層必要であると感じています。行政手続のオンライン化を図ったり、内部文書の取扱いに関して公文書システムや電子決裁システムの導入を検討していきます。また、システムが導入されないまでも、保管処理のアーカイブ化等を図ることでペーパーレス化を推進していきます。

### ■その他の質問項目

- ・地域づくりの担い手について
- ・環境保全について

**問** ICT を活用した鳥獣被害対策が出来ないか。また、加西市で活用された事例はあるか。

**答** 令和 2 年度より、捕獲おりに取付け可能な獣サイズ判別センサー式自動捕獲システムを 10 機導入しています。このシステムは温度センサーで動物を検知、距離センサーで動物の背丈を検知することが出来、目的のサイズで扉を閉めたり、餌付けモードでセンサー環境に慣れさせ、警戒心の薄れた獣をよりスムーズに短

# 市議会トピックス

## ■ 閉会中の委員会開催報告

総務常任委員会

令和2年11月11日(水)に閉会中の所管事務調査について審議を行い、行財政、観光行政、教育行政について幅広く意見が述べられました。

また、委員会終了後に鶴野飛行場跡巨大防空壕シアターの現地視察を実施し、観覧状況等について説明を受けました。

## ■ 閉会中の委員会開催日程

月 日	時間	会 議
2月9日(火)	10:00	総務常任委員会

## ■ 令和3年3月 加西市議会定例会の予定

月 日	時間	会 議
2月26日(金)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (提案説明等)
3月2日(火)	15:00	発言通告期限 (質疑・一般質問)
3月8日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (質疑・一般質問)
3月10日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (一般質問)
	検閲後	予算決算常任委員会 (全体会)
3月11日(木)	10:00	本会議 (予備日)
3月12日(金)	9:00	総務常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会総務分科会
3月15日(月)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
3月16日(火)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
3月17日(水)	13:30	予算決算常任委員会総務分科会 (予備日)
3月22日(月)	9:00	予算決算常任委員会 (全体会)
3月25日(木)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (委員長報告・討論・採決)

## ■ 請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

3月定例会での取り扱いを希望される場合は、令和3年2月18日(木)17時までにご提出ください。

### 加西市議会ホームページのご案内

議会の日程や議案の審議結果などを掲載しています。

また、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録も見ることができます。

ぜひ、ご活用ください。

スマートフォンでご覧いただく場合は、下記QRコードをご利用ください。

ぜひ傍聴にお越しください!



議会中継  
(ライブ・録画)は  
加西市議会HPへ



発行 加西市議会  
編集 議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾 1000  
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810  
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 森田博美  
委員 井上芳弘  
委員 深田真史

副委員長 北川克則  
委員 下江一将  
委員 森元清蔵